

2021年度 事業報告

社会福祉法人 和生福会

1. 2021年度 事業報告の概要

- 業績等
 - 収益
 - 全体の収益は前年度比で1.2%の増収
 - 2021年度介護報酬改定に伴う加算の算定により単価上がったことで増収
 - 稼働率
 - 入所系サービスで特養は100%を維持、短期入所も1.7%稼働率が上がった。
 - 通所系サービスは、昨年度平均稼働率が82.7%だったが、コロナ感染症の影響で79.5%に平均稼働率は下がった。要介護比率は0.8%上がった。
 - 居宅サービスでは一人当たりの担当件数を増やした。2月よりケアマネの増員ができた。(3月より特定事業所加算Ⅲ算定)
 - 収支改善
 - 業務の効率化の実施
 - コロナ禍での利用控えを最小限にするため、感染予防対策を強化
 - 適材適所人員配置
- サービスの質
 - 利用者最優先で、個々の技術面のみならずチームとして高品質な介護サービスの提供体制の推進
 - コロナ禍であっても、QOLとADLの維持向上を目的とした余暇活動の企画、実施できた
 - 岸和田平成病院のSTに関連職種へ指導を行ってもらった
- 人材の確保、育成
 - 事業所内フロア異動による人員配置の適正化
 - 研修の実施
 - 新入職員や介護未経験者に対するOJT研修体系の確立
 - 職種、経験や個人の特性に即した研修の実施
 - キャリアパス制度の整備など人事管理、制度の適正化
 - 職場のダイバーシティを説き、理解を求めた

- グループ内の連携
 - 相互に連携、協力体制をもち、ノウハウなどの利点を最大限に生かす。
 - 勉強会、技術交流や情報共有の実施
- 地域貢献活動
 - 新型コロナウイルス予防に配慮して「いきいき百歳体操」実施
 - 年2回自治会主催「美化運動」へ参加
- 新型コロナウイルスへの対応
 - 標準予防策、環境整備など感染対策の徹底
 - 和歌山県や平成医療福祉グループよりの情報提供と通達指示を受け実施
 - BCPの更新
 - 職員の感染はあったものの、利用者様に感染することはなく、クラスター発生を防ぐことができた

2. 運営状況(稼働率、利用者数)

※()の数値は対前年度の増減

高齢者事業

- 特養(稼働率)

事業所名	2020年度	2021年度
緑風苑 (入所)【100名】 (ショート)【20名】	100.0% 82.5%	100.0%(±0%) 84.2%(+1.7%)

- 通所介護(稼働率)

事業所名	2020年度	2021年度
平成デイサービスセンター海南【22名】	82.7%	79.5%(▲3.2%)

- 居宅(ケアプラン数)

事業所名	2020年度	2021年度
緑風苑居宅介護事業所(要介護) (要支援)	656件 279件	684件(+28件) 291件(+12件)

2021年度 事業報告

社会福祉法人 和生福会

対象事業所

高齢者事業

緑風苑(特養)【定員:入所-100名 ショート-20名】

平成デイサービスセンター海南(通所介護)【定員:22名】

緑風苑居宅介護支援事業所(居宅)

高齢者事業

緑風苑(特養)【定員:入所-100名 ショート-20名】

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 特養:介護報酬改定による新規加算算定により増収
 - 基本報酬改定
 - 科学的介護推進体制加算
 - 安全対策体制加算
 - 褥瘡マネジメント加算Ⅰ及びⅡ
 - ショート:稼働率UPのため増収
 - 基本報酬改定
 - サービス提供体制強化加算Ⅰイは単位数が同じ加算Ⅱへ移行
 - 単価減の要因
 - 「緊急短期入所受入加算」のコロナ特例措置が終了
 - 平均要介護度の減少
 - 稼働率
 - 特養:100%維持
 - ショート:月々で変動があったものの1.7%UP
 - 収支改善
 - 医療依存度の高い方の積極的な受入れ
 - 病院の地域連携室と密な情報交換をすることで、受入がスムーズにできた
 - サービスの質
 - 利用者最優先で、個々の技術面のみならずチームとして高品質な介護サービスの提供体制の推進
 - 介護職員が定着し人員配置の適正化ができた。
 - 昨年に引き続き、利用者や家族、また地域のニーズに沿って、近隣の医師の協力と当苑医師の連携の下、看取り期に入った利用者様の看取り実施を行うことができた。
 - コロナ禍で感染予防のため、面会制限を行ったが、感染傾向を確認しながら、テラス面会、オンライン面会、ガラス窓越し面会等を行い、利用者様にもご家族様にも安心して頂けるよう努めた。
 - コロナ感染予防のために、施設利用者全員が集まるようなレクリエーションは出来なかったが、各フロア単位で工夫したレクを行い、利用者様に楽しんで頂け

た。

- 人材の確保、育成
 - 厨房職員不足に対し、無料・有料の求人媒体を利用して、必要な人材確保に努めた。
 - Eラーニングを利用し、各フロアPCにて研修動画を視聴できるようにすることで、全職員が研修に参加できた。
 - 今年度も継続し「職員満足度調査」を実施した。職員からの前向きな意見を取り入れたり、問題点を洗い出し解決に導けた。
 - 介護プロフェッショナルキャリア段位制度のアセッサー資格取得者1名
- 地域貢献活動
 - 新型コロナウイルス予防に配慮して「いきいき百歳体操」実施
 - 年2回自治会主催「美化運動」へ参加
- 改修工事
 - LED照明取付工事

● 主な指標

○ 入所

※()の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
稼働率	100.0%	100.0%(±0%)
平均要介護度	3.8	3.8(±0)
単価(人・日)	13,854円	14,039円(+185円)

○ ショート

	2020年度	2021年度
稼働率	82.5%	84.2%(+1.7%)
平均要介護度	3.6	3.5(▲0.1)
単価(人・日)	14,190円	14,174円(▲16円)

平成デイサービスセンター海南(通所介護)【定員:22名】

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 新型コロナウイルス特例「2区分上位の報酬区分」の算定終了
 - 2021年度の報酬改定に伴い「入浴介助加算Ⅰ」が10単位減少となったことにより減収となっている。
 - 新規加算の算定
 - 「科学的介護推進体制加算」(40単位/月)
 - 「ADL維持等加算Ⅲ」(3単位/月)
 - 「個別機能訓練加算Ⅱ」(20単位/月)
 - 稼働率
 - 2021年10月まで73%～80%と稼働率が低迷が続いた。昨年より13%低下した月もあった。11月からは、営業頻度の拡大とHPを活用した広報拡充を行い、80%～85%に回復している。
 - 2022年1月下旬、併設特養の職員にコロナ陽性者が出たことを受け、2月から利用を控える方が多く、2月の稼働率は78%となっている。
 - 収支改善
 - 算定できる加算の単位数が減ったことと、稼働率の低迷で収益が下がったが、人件費を適正に計算したので収支差額は赤字にならなかった。
 - サービスの質
 - QOLとADLの維持向上を目的としたレクリエーション実施
 - 自宅でも楽しんで頂ける(お持ち帰りして)作品作り
 - 感染予防対策に利用者様にもご協力頂き、ご自宅でも行って頂いた。
 - 個別リハビリ実施
 - 夕食サービス実施
 - 人材の確保、育成
 - Eラーニングを利用し、PCにて研修動画を視聴できるようにすることで、全職員が研修に参加できた。
 - 職員の退職はなかった。

- 主な指標

※()の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
稼働率	82.7%	79.5%(▲3.2%)
平均要介護度	2.2	2.2(±0)
単価(人・日)	9,262円	9,297円(+35円)

緑風苑居宅介護支援事業所(居宅)

- 事業報告の概要

- 業績等

- 収益

- 介護報酬改定で「特定事業所加算A」算定開始
- 2022年3月より「特定事業所加算Ⅲ」算定開始
- 要介護・要支援の担当件数増加により増収
- ケアマネ1名増員により増収(2月より)

- 収支改善

- 件数は増えたが、要支援件数が多いため収支改善に至らなかった。
- 年度当初よりケアマネ募集をしたが、採用は2月であったので、収入増(収支改善)まで時間がかかります。

- サービスの質

- 地域ケア会議に出席し、事例検討をすることで、自己研鑽しサービスの質向上に努めた。
- 他事業所との合同研修実施

- 人材の確保、育成

- Eラーニングを利用し、PCにて研修動画を視聴
- 2月にケアマネ1名増員(3月より特定事業所加算Ⅲ算定)

- 主な指標

※()の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
ケアプラン数(要介護) (要支援)	656件 279件	684件(+28件) 291件(+12件)
平均要介護度	2.3	2.2(▲0.1)
単価(人・月)	9,531円	10,756円(+1,225円)